

医学研究実施のお知らせ

函館五稜郭病院（呼吸器内科）では倫理委員会の審査を受け、病院長の許可を得て以下の研究を実施しております。このお知らせは、「文部科学省・厚生労働省 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲載しています。

【研究課題名】

肺癌を疑う末梢肺病変に対して極細径気管支鏡（MP290F）における
経気管支クライオ生検（EBUS-UT-TBC）と鉗子生検の併用の
有用性を明らかにするための後ろ向き観察研究

【研究の概要】

●目的

末梢小型肺病変に対して MP290F を用いてクライオプローブと鉗子を併用で生検を施行した組織診断率について検討する

●対象となる方

西暦 2022 年 4 月 1 日から西暦 2023 年 3 月 31 日までに函館五稜郭病院呼吸器内科で極細径気管支鏡においてクライオプローブおよび鉗子を併用して生検検査を受けた患者 75 例の患者様です

●研究期間

病院長承認日～2024 年 12 月 31 日までです。

●研究に利用する試料、情報等

- ① 臨床所見（年齢、性別）
- ② 画像所見（肺野病変のサイズ（長径）、病変の大きさ、病変の肺門からの距離、病変の位置）
- ③ 気管支鏡所見（気管支鏡施行時のバイタル、超音波による病変描出率、診断率、到達可能気管支次数、検査時間、安全性（合併症））
- ④ 病理学的所見（病理診断）

●プライバシーの保護

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報を削除し、当院で発行した匿名化 ID 番号を使用しますので個人情報が外部に漏れることはありません。

●研究の成果

この研究で得られた研究結果は学会や学術雑誌で発表を行う予定です。その際も個人が特定できる情報は利用しません。

【本研究に関する問い合わせ先】

この研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、この研究に試料・情報を用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、ご連絡いただいた時点で

既に、研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果などからあなたに関するデータを取り除くことができず、研究参加を取りやめることができなくなります。

函館五稜郭病院 呼吸器内科

研究責任医師：角 俊行

共同研究者：山田 裕一

共同研究者：渡辺 裕樹

共同研究者：池田 拓海

共同研究者：越野 友太

共同研究者：鈴木 敬仁

電話：0138-51-2295（病院代表番号）

（対応時間：平日 9：00～17:00 呼吸器内科外来）